

北海道開発技術年表

1 治水事業

年次	事項
S27	<ul style="list-style-type: none"> <li>・河川距離標設置並びに縦横断測量の実施（石狩川）</li> <li>・声問川着工</li> </ul>
28	<ul style="list-style-type: none"> <li>・武佐川着工</li> </ul>
30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・護岸洗掘対策に根固コンクリートブロックの登場</li> <li>・石狩川月形大曲新水路完成（3.7kmが1.2kmに短縮）</li> </ul>
31	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雨量・水位観測のテレメータ化（桂沢ダム）</li> <li>・狩別川着工</li> <li>・北海道開発局河川工事仕様書制定</li> <li>・超短波無線電話導入（石狩川）</li> <li>・永久護岸工法の開発 場所打ちコンクリート法枠の登場（豊平川ほか）</li> </ul>
32	<ul style="list-style-type: none"> <li>・桂沢ダム竣工（着工昭和26年） 道内初の直轄多目的ダム重力式</li> </ul>
34	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水質調査開始（石狩川）</li> </ul>
35	<ul style="list-style-type: none"> <li>・築堤盛土のトラック施工の普及</li> </ul>
38	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石狩川洪水予測にアナログ型コンピューターを導入</li> </ul>
39	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石狩川を一級河川に指定</li> <li>・増幌川着工</li> </ul>
40	<ul style="list-style-type: none"> <li>・堤防除草にハンドガイド式草刈機登場</li> <li>・樋門管の標準設計化</li> </ul>
41	<ul style="list-style-type: none"> <li>・護岸工地盤吸出し防止の下敷材に防砂マット登場</li> <li>・十勝川、天塩川を一級河川に指定</li> <li>・築堤法面植生人工芝の採用（豊平川右岸）</li> <li>・音別川着工</li> </ul>
42	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金山ダム竣工（着工昭和36年） 道内初の中空重力式ダム。施工にケーブルクレーン孤動型導入</li> <li>・千歳川馬追運河水門完成 <math>Q=170\text{m}^3/\text{s}</math>、<math>4.3\text{m}\times 7.5\text{m}\sim 2</math>門、直轄第1号</li> <li>・エキスカベーター、土運車、機関車の河川土工花形セット姿消す</li> <li>・常呂川・釧路川・鶴川・尻別川を一級河川に指定</li> <li>・生花苗川着工</li> </ul>
43	<ul style="list-style-type: none"> <li>・軟弱地盤急速盛土にサンドコンパクション工法採用（月寒川）</li> <li>・沙流川・後志利別川を一級河川に指定</li> <li>・馬追運河排水機場（<math>\phi 1800\times 30\text{m}^3/\text{sec}</math>）</li> <li>・直轄第1号として竣工（千歳川）</li> </ul>
44	<ul style="list-style-type: none"> <li>・網走川、湧別川を一級河川に指定</li> <li>・石狩川砂川新水路完成（石狩川のショートカット完了）</li> <li>・樋門ゲート捲揚機の動力化（天塩川上流、大富樋門ほか）</li> </ul>

45	<ul style="list-style-type: none"> <li>・渚滑川を一級河川に指定</li> </ul>
46	<ul style="list-style-type: none"> <li>・河川環境整備事業着手（豊平川・忠別川）</li> <li>・石狩川水系（石狩川本川上流）直轄砂防事業着手（北海道で初めての直轄砂防）</li> <li>・恒久護岸用ブロックのプレキャスト化（豊平川）</li> <li>・岩尾内ダム竣工（着工昭和 40 年） 道内ダムで初めてクローラードリルを採用し 5mm ベンチカットによる掘削能率の向上を図った。</li> </ul>
47	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クツウンベツ川第 5 号ダム完成 道内直轄砂防ダム第 1 号（石狩川上流）</li> <li>・十勝川水系直轄砂防事業着手</li> <li>・留萌川を一級河川に指定</li> <li>・樋門等設計指針の策定</li> <li>・工事費積算の電子化始まる。</li> <li>・豊平峡ダム竣工（着工昭和 42 年） 道内初のアーチ式（バッチャープラントの完全自動化）</li> <li>・茨戸川で初めてアオコが発生</li> </ul>
48	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンクリートブロックの品質管理をヒストグラム及び X-R 管理図等で実施</li> <li>・堤防除草にトラクターによる草刈機の登場</li> <li>・デジタル式コンピューターの導入による洪水予測の開始（石狩川下流）</li> <li>・護岸工にカラーブロック使用（産業廃棄物の赤泥利用・石狩川）</li> <li>・護岸工に大型ブロックの登場・布設の機械化</li> <li>・水質自動監視装置の導入 江別橋下流（石狩川）</li> </ul>
49	<ul style="list-style-type: none"> <li>・護岸根固工設計施工指針の策定</li> </ul>
50	<ul style="list-style-type: none"> <li>・軟弱地盤対策工法としてパイルネット工法の開発（幌向川）</li> <li>・石狩川激特工事</li> <li>・堤防基盤の漏水対策にシートウォール工法の導入（南音更）</li> <li>・大雪ダム竣工（着工昭和 43 年） 建設省初の大型ロックフィルダム（3m<sup>3</sup> パワーショベル、20t ダンプトラック等の大型土工機械の導入）</li> </ul>
52	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水質監視テレメータ化（石狩川上流）</li> <li>・河川災害対策用機械として排水ポンプ車（30m<sup>3</sup>/min）の導入</li> </ul>
53	<ul style="list-style-type: none"> <li>・河川環境整備事業 茨戸川浄化対策工事着手 ウーザーポンプ凌漢船・排泥汚濁処理に PAC 凝集剤使用</li> <li>・堤防基盤漏水対策にプランケット工法の導入（六戸島築堤）</li> </ul>
54	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伏籠川総合治水対策特定河川事業着手 直轄・補助による総合整備（本川の整備及び放水路・遊水機能・内水排除等）</li> <li>・釧路湿原がラムサール条約登録（国内初）</li> <li>・豊平川で 25 年ぶりにサケ遡上を確認</li> </ul>
55	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漁川ダム竣工（着工昭和 49 年） 道内初の高透水性軟岩を基盤としたダム</li> <li>・護岸法覆工設計指針の策定</li> <li>・河川情報システム導入（石狩川）</li> </ul>

55	<ul style="list-style-type: none"> <li>・釧路遊水地事業着手</li> </ul>
56	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生物環境への配慮として魚巢ブロックの登場（創成川）</li> <li>・石狩川激特工事</li> <li>・石狩川上流砂防忠別川羽衣ダム完成（着工昭和 53 年） 自然景観にとけ込むよう堤体表面を玉石張りダムとした。</li> <li>・漁川ダムが全建賞受賞</li> <li>・台風 12 号、15 号による記録的な豪雨に全道被災。建設中の石狩放水路で緊急暫定通水</li> </ul>
57	<ul style="list-style-type: none"> <li>・浦幌十勝導水路通水 河口閉塞防止のための維持流量の導水 浦幌十勝川水系は十勝川水系に統合される。</li> <li>・泥炭性軟弱地盤における河川堤防の設計施工指針</li> <li>・石狩放水路竣工（着工昭和 51 年） 札幌市北部の洪水防御（塩水遡上防止に 2 段ゲート採用）</li> <li>・矢板護岸採用 通信ケーブルに光ファイバー使用</li> <li>・丘陵堤施工（石狩川下流）</li> <li>・水質自動監視装置のテレメータ化完了</li> <li>・沙流川総合開発事業着手（2 ダム 1 事業）平成 19 年から平取ダムの付替道路工事を継続中</li> <li>・豊平川直轄砂防事業着手</li> </ul>
58	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鹿ノ子ダム竣工（着工昭和 50 年） 道内初の管理用水力発電設備の採用（コンクリート締固にバイパック導入）</li> <li>・不同沈下対策として樋門躯体及び止水矢板に可撓継手を採用（夕張川・中樹林樋門ほか）</li> </ul>
59	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道内初の大規模水防演習の実施（石狩川筋 江別市）</li> <li>・漏水対策工設計施工指針の策定</li> <li>・十勝ダム竣工（着工昭和 48 年） 国内最大の高圧・スライドゲート採用（大型土工機械・コア材・含水比調整設備を導入）</li> <li>・漏水対策として樋門周辺グラウトの実施</li> </ul>
60	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合土石流対策モデル事業実施（豊平川砂防）</li> <li>・摩擦杭基礎工による樋門工（釧路・稚内）</li> </ul>
61	<ul style="list-style-type: none"> <li>・河川情報レーダ雨雪量計装置着手（道央圏）</li> <li>・清幌床止改築工事着手（夕張川、特定構造物改築事業）</li> </ul>
62	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定火山周辺総合土石流対策事業着手</li> <li>・耐溢水堤防の設置（美瑛川）</li> <li>・砂川遊水地事業着手</li> <li>・豊平川砂防・オカバルシ川で遊砂地の完成 遊砂地を親水性のある緑地公園として市民に開放</li> <li>・牛朱別川分水路整備事業着工</li> <li>・流水保全水路整備事業（旭川）着手</li> <li>・網走湖で初めて青潮が発生（魚介類が大量死）</li> </ul>

63	<ul style="list-style-type: none"> <li>・千歳川放水路事業着手</li> <li>・直轄海岸保全施設整備事業（胆振海岸）着手</li> <li>・留萌川激甚災害対策特別緊急事業着手</li> <li>・胆振海岸保全整備事業着手 北海道で初めて人工リーフと緩傾斜護岸採用し海岸の浸食防止と合わせて水産資源の保全を図った。</li> <li>・豊平川砂防・野々沢川、穴の川、オカバルシ川、南の沢川にて雪対策砂防モデル事業着手</li> <li>・金山ダム湖において第 44 回国民体育大会カヌー競技開催（9/3～9/6）</li> <li>・十勝川砂防戸蔦別川床固工群着手</li> <li>・溪畔林を活要した緑の砂防ゾーン創出事業着手</li> <li>・十勝岳噴火に伴い、災害関連緊急事業実施</li> </ul>
H 元	<ul style="list-style-type: none"> <li>・十勝岳泥流対策事業着手</li> <li>・移動式排水ポンプ設置（石狩川・徳富川）</li> <li>・堤防側帯に桜つつみを設置（石狩川・旧美唄川・北村）</li> <li>・軟弱地盤用に鋼製樋門の設置（石狩川）</li> <li>・石狩川上流黒岳沢床固工群着手（セイフティ・コミュニティモデル事業・雪対策モデル事業）</li> <li>・石狩川上流砂防尻無沢川第 2 号ダム完成（着手平成元年） 北海道開発局で初めて型枠兼用の天然ガラマツ材で堤体表面を化粧</li> <li>・豊平川ダム総合管理事務所発足</li> <li>・沙流川環境整備事業着手</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幾春別川総合開発事業着手（2ダム1事業） 平成 13 年から 2 ダムの転流工工事を継続中 新桂沢ダムは現ダムを嵩上げる再開発ダム 三笠ぼんべつダムは台形 CSG 工法（平成 20 年大臣特認について承認）で建設する流水型ダム</li> <li>・消流雪用水導入事業（石狩川上流）着手</li> <li>・超々軟弱地盤樋門管試験施工</li> <li>・定山溪ダム竣工（着工昭和 53 年） 打設設備として国内直轄ダム初のタワー（クライミング）クレーンの採用</li> <li>・十勝川砂防 戸蔦別川第 1 号ダム完成（着手昭和 62 年） 北海道内の直轄砂防事業で初めて魚道を設置</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消流雪用水導入事業（後志利別川）着手</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美利河ダム竣工（着工昭和 54 年） 箱型連続地中壁と基礎処理により土木学会技術賞受賞</li> <li>・道内初の本体 RCD 施工の採用</li> <li>・夕張川清幌床上改築完了</li> <li>・消流雪用水導入事業（石狩川下流）着手</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・網走川・網走湖浄化対策事業着手</li> <li>・サンルダム建設事業着手 平成 11 年から付替道路工事を継続中 日本最北の直轄ダム、</li> </ul>

	台形 CSG ダム（平成 15 年大臣特認にて承認）
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・釧路沖地震：釧路川、十勝川等で堤防が被災し災害復旧</li> <li>・北海道南西沖地震：後志利別川、尻別川等で堤防が被災し災害復旧</li> <li>・十勝岳火山砂防情報センター完成 運用開始</li> </ul>
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・樽前山火山砂防事業着手</li> <li>・湧別川環境整備事業着手</li> <li>・石狩川魚がのぼりやすい川づくり推進モデル指定</li> <li>・北海道東北沖地震に伴い、災害復旧対策の実施</li> </ul>
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夕張シューパロダム建設事業着手 現ダムの 155m 下流に新ダムを建設中の再開発ダム、国内最大の連続サイフォン方式選択取水設備</li> <li>・床上浸水対策特別緊急事業（石狩川下流）の新設</li> <li>・石狩川水系砂川遊水地完成</li> <li>・石狩川流域 300 万本植樹活動開始</li> <li>・十勝川千代田新水路事業着手</li> <li>・雨竜川捷水路事業着手（石狩川水系最後の大規模捷水路）</li> </ul>
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・十勝砂防スリット構造による戸蔦別川第 5 号ダム完成</li> <li>・金山ダム湖活用環境整備事業着手（H8～15）</li> <li>・胆振海岸において全国初のタンDEM型人工リーフ施工</li> <li>・留辺志部川・エチャナンケップ川を北海道に移管（石狩川上流直轄砂防事業）</li> </ul>
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・札内川ダム土木学会北海道支部技術賞受賞（高炉スラグ微粉末を混和剤に用いたコンクリートダムの建設に対し、土木技術の進展に顕著な貢献をなしたことにより。）</li> <li>・美利河ダム水環境改善事業着手</li> <li>・二風谷ダム竣工（着工昭和 59 年）超大型型枠の開発及び機械施工による施工合理化、国内最大級のスイング式魚道の設置</li> </ul>
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・札内川ダム竣工（着工昭和 60 年） RCD 工法で新しいダム用セメント（中庸熟セメントに高炉スラグ微粉末を混合したもの）を開発し採用</li> <li>・札内川ダム土木学会技術賞受賞（札内川の清流保全とダム周辺環境保全の取組に対し、土木技術の発展に顕著な貢献をなしたことにより。）</li> </ul>
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・滝里ダム竣工（着工昭和 58 年） 国内初のパイプベルトコンベアによりコンクリートを運搬し RCD 施工を実施</li> <li>・流水保全水路完成：牛朱別川が水質改善</li> </ul>
12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有珠山噴火、開発局支援実施（土砂災害対策専門家チーム派遣など）</li> <li>・鶴川河口地区自然再生事業着手（北海道初の河口干潟の再生）</li> <li>・旧花園頭首工（石狩川）右岸側に魚道を整備（旭川市内でサケの遡上が確認される）</li> </ul>
13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水源地域ビジョンによる 21 世紀のダムづくりの推進を開始</li> <li>・釧路川環境整備事業着手</li> </ul>
14	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダム等の管理に係るフォローアップ制本格的導入（平成 8 年度から試行）</li> <li>・道内初の鋼矢板セルタイプ砂防整備（覚生川 3 号遊砂地）完成</li> </ul>

14	<ul style="list-style-type: none"> <li>・牛朱別川分水路通水開始</li> <li>・標津川に蛇行復元の試験地を整備</li> <li>・国内初の弾性接合方式プレキャスト樋門施工（石狩川）</li> <li>・雨竜川捷水路事業完成</li> <li>・石狩川江別地区河川防災ステーション完成</li> </ul>
15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・胆振日高地方、十勝地方で死者を伴う水害</li> <li>・二風谷ダム ダム・堰危機管理業務顕彰最優秀賞受賞（計画規模を越える異常洪水への適切なダム操作実施）</li> <li>・二風谷ダムの流木処理を災害復旧で着手</li> <li>・「コスト構造改革」により全てのプロセスをコストの観点から見直しの取組</li> <li>・十勝沖地震：釧路川、十勝川等で堤防が被災し災害復旧</li> <li>・釧路湿原自然再生協議会発足（道内初の自然再生推進法に基づく協議会）</li> <li>・茨戸川清流ルネッサンスⅡ計画策定</li> </ul>
16	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美利河ダムにバイパス水路式魚道完成（日本一長い魚道）</li> <li>・牛朱別川分水路が完成し、永山新川と命名</li> <li>・網走川清流ルネッサンスⅡ計画策定</li> </ul>
17	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二風谷ダム ダム・堰危機管理業務顕彰最優秀賞受賞（事前放流による洪水調節容量の確保に向けた実施要領の策定）</li> <li>・漁川ダム「貯水池水質保全事業」完了（着工平成13年）</li> <li>・石狩川幾春別川新水路完成</li> <li>・釧路湿原自然再生全体構想策定</li> <li>・網走川清流ルネッサンスⅡ事業で網走湖の塩淡水境界層制御実験開始</li> <li>・千歳川上流地区河川防災ステーション完成</li> <li>・士別地区河川防災ステーション完成</li> <li>・標茶地区河川防災ステーション完成</li> </ul>
18	<ul style="list-style-type: none"> <li>・釧路湿原茅沼地区旧川復元事業着手</li> <li>・鶴川河口地区自然再生事業の工事完了（移行モニタリングを継続）</li> <li>・忠別ダム竣工（着工昭和59年） 砂礫部の遮水は連続地中壁、コアと砂礫基礎境界部はアスファルトコンクリートにより止水層を施工</li> <li>・美利河ダム魚道設置事業（ダム水環境改善事業）で全建賞受賞</li> <li>・十勝川千代田新水路完成、実験水路運用開始（日本初の実河川における実物大実験施設）</li> <li>・湧別川環境整備事業完成</li> <li>・千歳川北広島地区河川防災ステーション完成</li> <li>・東帯広地区河川防災ステーション完成</li> </ul>
19	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夕張シューパロダム堤体コンクリート打設開始（RCD工法）</li> <li>・忠別ダム土木学会技術賞受賞（砂礫上に建設した国内最大級の複合ダムとして、土木技術の発展に顕著な貢献をなしたことにより。）</li> <li>・忠別ダム建設事業が、(社団法人)ダム工学会の技術賞受賞（ダムの計画、設計、施工ま</li> </ul>

19	<p>たは維持管理等に関して、ダム技術の発展に著しい貢献をなしたことにより。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・石狩川下流当別地区自然再生事業着手</li> <li>・茨戸川清流ルネッサンスⅡ事業で創成川ルートの導水開始</li> </ul>
20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岩手・宮城内陸地震（6月14日発生）に伴い、TEC-FORCE（3人、1班）派遣</li> <li>・岩手県沿岸北部地震（7月24日発生）に伴い、TEC-FORCE（6人、2班）派遣</li> <li>・忠別ダム ダム工学会技術賞受賞（忠別ダム建設事業）</li> <li>・豊平峡ダム直轄堰堤改良事業完了（平成15年度着工）</li> <li>・千歳川遊水地嶮淵右岸遊水地工事着手</li> <li>・石狩川上流旭川地区河川防災ステーション運用開始</li> <li>・石狩川北村地区河川防災ステーション完成</li> <li>・天塩川上流 中川地区水防拠点完成</li> </ul>
21	<ul style="list-style-type: none"> <li>・留萌ダム試験湛水（H21.3～5月）、竣工（着工平成元年） 低品質の岩は堤体内部へトランジション材として有効利用、基礎岩盤特性を考慮した仕上げ掘削方法の採用、コアゾーンにおける新たな越冬対策の採用、グラウチングの合理化施工</li> <li>・留萌ダム建設事業が（社団法人）ダム工学会の技術賞受賞（ダムの計画、設計、施工または維持管理等に関して、ダム技術の発展に著しい貢献をなしたことにより。)</li> <li>・留萌ダム 全建賞受賞（十分な環境への配慮の基で工事を行うと共に、事業により失われた環境の復元など積極的な対策をなしたことにより。)</li> <li>・留萌川大和田遊水地完成</li> <li>・釧路湿原久著呂川湿原流入部土砂調整地着手</li> <li>・天塩川下流自然再生事業着手（河口部汽水環境再生）</li> <li>・夕張川清幌床工魚道部分改良実施</li> <li>・旭川市かわまちづくり登録</li> </ul>
22	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石狩川治水100年</li> <li>・釧路湿原茅沼地区旧川復元事業で旧川に通水</li> <li>・茨戸川清流ルネッサンスⅡ事業で石狩川ルートの導水開始</li> <li>・旧花園頭首工の左岸側の魚道整備着手</li> <li>・豊平川札幌地区河川防災ステーション完成</li> <li>・千歳川遊水地北島地区遊水地掘削工事着手</li> <li>・リクマンベツ川溪流保全工（石狩川上流直轄砂防事業）が国交省景観アセスメント試行工事として完成</li> <li>・石狩川上流 美瑛地区水防拠点完成</li> <li>・旭川地区河川防災ステーション（旭川市総合防災センター中核施設運用開始）</li> </ul>
23	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊平川砂防・野々沢川、穴の川の直轄砂防設備を道州制特区推進法により北海道へ移譲</li> <li>・東日本大震災による津波被害発生</li> <li>・釧路湿原茅沼地区旧川復元事業の工事完了（以降モニタリング継続）</li> <li>・留萌ダム建設事業 土木学会北海道支部技術賞受賞</li> <li>・9月2日からの停滞前線等による大雨による災害 十勝川水系の支川音更川では、広い</li> </ul>

23	<p>範囲で大規模な河岸侵食が発生，KP18.2の左岸地点では堤防の一部が流出。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・石狩川上流神居川水門完成</li> <li>・石狩川流域圏会議 設立</li> <li>・夕張川新水路が土木学会選奨土木遺産に認定</li> </ul>
24	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相生中島地区河道整備完了</li> <li>・石狩川上流近文地区花咲水防拠点完成</li> <li>・天塩川上流 音威子府地区水防拠点完成</li> <li>・忠別川水辺プラザ整備（北彩都あさひかわ）事業完了</li> <li>・石狩川北村遊水地事業着手</li> <li>・十勝川中流部川づくりの着手（地域協働）</li> <li>・釧路湿原幌呂地区湿原再生事業着手</li> <li>・千歳川遊水地晩翠地区、東の里地区遊水地掘削工事着手</li> </ul>
25	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダム検証に係る国土交通省の対応方針の決定（継続）（幾春別川総合開発事業）</li> <li>・千歳川遊水地江別太地区、根志越地区遊水地掘削工事着手</li> <li>・「網走川水系網走川水環境改善緊急行動計画」（清流ルネッサンスⅡ）により網走川大曲堰が完成</li> <li>・札内川地区自然再生事業（礫河原再生）着手</li> </ul>
26	<ul style="list-style-type: none"> <li>・網走川大曲堰の本格運用開始</li> <li>・夕張シューパロダム試験湛水（H26.3～H27.1）</li> <li>・美瑛川地区かわまちづくり事業着手</li> <li>・低気圧に伴う豪雨による出水（北海道内初の大雨特別警報発表、漁川ダム上流など被災）</li> <li>・石狩川上流河床低下対策工時着手</li> <li>・新釧路川が土木学会選奨土木遺産に認定</li> <li>・茨戸川清流ルネッサンスⅡ事業で雁来ルートの導水開始</li> <li>・「日本ダムアワード選考委員会」主催の「日本ダムアワード2014」で夕張シューパロダムが「放流賞」受賞</li> <li>・「日本ダムアワード選考委員会」主催の「日本ダムアワード2014」で豊平峡ダムが「イベント賞」受賞</li> <li>・桂沢ダムが特定多目的ダム法に規定する多目的ダムになる</li> </ul>
27	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旭川市かわまちづくりが完了</li> <li>・堤防除草刈草のバイオガス活用の取組開始（鹿追町）</li> <li>・千歳川遊水地群舞鶴遊水地完成</li> <li>・夕張シューパロダム建設事業完了</li> <li>・新桂沢ダム工事着工</li> <li>・石狩川下流自然再生事業【幌向地区】事業着手</li> <li>・網走川大曲堰が土木学会北海道支部技術賞を受賞</li> <li>・網走川水系河川整備計画の策定</li> <li>・北彩都あさひかわ地区が都市景観大賞都市空間部門・大賞を受賞</li> </ul>

27	<ul style="list-style-type: none"> <li>・釧路湿原茅沼地区旧川復元事業が土木学会環境賞受賞</li> <li>・夕張シューパロダム建設事業が全建賞受賞</li> <li>・新桂沢ダム基礎掘削着手</li> <li>・道内初多機関連携タイムライン検討着手 『石狩川滝川地区水害タイムライン検討会』発足式</li> <li>・北彩都あさひかわが土木学会デザイン賞・最優秀賞受賞</li> <li>・茨戸川の岡崎式単床ブロック護岸が土木学会選奨土木遺産に認定</li> <li>・夕張シューパロダム建設事業が一般社団法人ダム工学会のダム工学会賞技術賞受賞</li> </ul>
28	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミズベリング十勝会議の開催</li> <li>・かわまちづくり支援制度に、網走市の『網走かわまちづくり』計画が登録</li> <li>・十勝川左岸音更地区が都市・地域再生等利用区域に指定</li> <li>・石狩川流域圏会議で石狩川流域連携宣言（旭川市長（議長）、知事、開発局長）</li> <li>・忠別川河川空間整備事業（北彩都あさひかわ）が全建賞受賞（区画整理、鉄道高架、関連街路や河川空間整備などが連携・調整して都市空間の景観形成を図ったことにより。）</li> <li>・8月17日～23日の1週間に3個の台風が北海道に上陸し、道東を中心に大雨により河川の氾濫や土砂災害が発生</li> <li>・平成28年8月出水 空知川幾寅築堤破堤</li> <li>・石狩川上流ウッペツ川水門工事着手</li> <li>・天塩川上流 美深地区水防拠点完成</li> <li>・「日本ダムアワード選考委員会」主催の「日本ダムアワード2016」で金山ダムが「ダム大賞」受賞</li> <li>・石狩川下流当別地区自然再生を完了</li> </ul>
29	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石狩川上流愛別地区水防拠点完成</li> <li>・「堤防決壊箇所等での緊急復旧工事」で北見河川事務所が全建賞受賞</li> <li>・「北海道直轄河川に発生した堤防決壊箇所等での緊急復旧工事」が全建賞受賞</li> <li>・石狩川流域圏会議にて「石狩川流域サイクリングコースマップ」（層雲峡～石狩川河口）を公表</li> <li>北海道サイクルツーリズムの5ルートの一つ「石狩川流域圏ルート」として位置付け</li> <li>・土木学会北海道支部技術賞 樽前山直轄火山砂防事業苦小牧川遊砂地</li> <li>・金山ダム50周年記念アニバーサリープロジェクト</li> <li>・新桂沢ダム定礎式挙行</li> </ul>
30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・帯広市かわまちづくり事業 十勝川中流域かわまちづくり事業 登録</li> <li>・『砂川地区かわまちづくり』計画登録</li> <li>・『恵庭かわまちづくり』計画登録</li> <li>・雨竜川ダム再生事業着手（雨竜川ダム調査事業所開所）</li> <li>・石狩川上流辺別川高速流対策着手</li> <li>・北海道胆振東部地震（石狩放水路、夕張シューパロダムで被災）</li> <li>・「空知川南富良野町幾寅地区 地域連携防災事業」着手（着手報告会、現場見学会、パネ</li> </ul>

30	<ul style="list-style-type: none"> <li>ル展)</li> <li>千代田実験水路 全建賞受賞 (堤防破堤時の被害軽減技術に関する実験を行い、堤防破堤箇所における河川条件に応じた効率的な締切手順を体系的に取りまとめたことにより。)</li> </ul>
31	<ul style="list-style-type: none"> <li>厚真川水系直轄砂防事業 河川等災害関連緊急事業着手</li> <li>胆振東部地震 鶴川で堤防が被災し災害復旧</li> </ul>
R元	<ul style="list-style-type: none"> <li>サンルダム建設事業完了 (着工平成5年) 台形CSGダム</li> <li>砂川地区かわまちづくり事業着手</li> <li>恵庭かわまちづくり事業着手</li> <li>厚真川水系直轄砂防事業 特定緊急砂防事業着手</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>常呂川下流地区水害タイムライン試行版完成</li> <li>十勝川右岸帯広地区が都市・地域再生等利用区域に指定</li> <li>十勝エコロジーパークが都市・地域再生等利用区域に指定</li> <li>治水の杜づくり 20年</li> <li>釧路湿原ヌマオロ地区旧川復元事業着手</li> <li>旧運河橋が土木学会選奨土木遺産に認定</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>石狩川治水 110年</li> <li>豊平川ウォーターガーデン地区が都市・地域再生等利用区域に指定</li> <li>網走川流域における流域対策等に関する取組ビジョンの推進を宣言</li> <li>釧路湿原久著呂川湿原流入部土砂調整地の工事完了 (以降モニタリング継続)</li> <li>美瑛川地区かわまちづくり事業が完了</li> <li>千歳川遊水地群完成</li> <li>ピヤシリ川魚道整備完成 (天塩川中上流地区自然再生事業)</li> <li>美瑛川地区かわまちづくり事業が全建賞受賞 (地域の意見を踏まえ、社会実験を行い、サイクリングロードの整備や街側でレンタサイクルなどの取組が進められていることにより。)</li> <li>千歳川遊水地群の整備事業が全建賞受賞</li> <li>美瑛川地区かわまちづくり事業「美瑛川・青い池サイクリングコース」開通記念式典開催</li> <li>網走川「大空地区河川防災ステーション」の整備工事着手</li> <li>日高幌内川河道閉塞緊急対策が全建賞受賞</li> <li>砂川オアシスパーク (砂川遊水地) 地区が都市・地域再生等利用区域に指定</li> <li>滝里ダム 20周年記念パネル展を開催 (芦別市：星の降る里百年記念会館)</li> <li>金山ダムが土木学会選奨土木遺産に認定</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>石狩川滝川地区水害タイムライン検討会 (第12回) タイムラインの運用主体を滝川市へ移行</li> <li>久尾内川魚道整備完成 (天塩川中上流地区自然再生事業)</li> </ul>